様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	バイオ学科	夜・通信	２７０時間	２４０時間	
	バイオ技術学科（昼間）	夜・通信	２７０時間	１６０時間	
商業実務専門課程	医療事務総合学科	夜・通信	１８０時間	１６０時間	
	医療福祉心理学科	夜・通信	２４０時間	２４０時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.obm.ac.jp/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.obm.ac.jp/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	平成 30 年 4 月 27 日～令和 2 年 4 月 26 日	副理事長

（備考）
申請日現在、学外者である理事は、副理事長１名だが、複数の外部理事就任のため、寄附行為の改定作業及び理事会決裁手続き中であり、令和 2 年 4 月 1 日までに複数の外部理事選任を確実に実施できるよう対応中。

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
※授業計画（シラバス）の作成過程
毎学期それぞれの担当科目講師により授業計画（シラバス）を作成し、本校 Web サイトへの掲載を行う。

※授業計画の作成・公表時期
前期および通年科目については前年度の３月末頃、後期科目については８月末頃に公表する。

授業計画書の公表方法	https://www.obm.ac.jp/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は下表のとおり。

試験点・平常点	６０点	本試験は６０点満点で評価する。
出席点	４０点	出席時数が各科目の授業時数の３分の２以上の者に対し、その出席時数に応じて評価する。

上記総合評価が 60 点以上の者に当該教科の履修を認定し、２０２０年度以降の評定は点数に応じて、下表のとおりとする。

総合評価	90 点以上	89 点以下 80 点以上	79 点以下 70 点以上	69 点以下 60 点以上	59 点以下
評定	S	A	B	C	D
合否	合格	合格	合格	合格	不合格

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
2020 年度より、GPA 制度を取り入れる。
GPA の算出方法は、総合成績の評定（S・A・B・C・D）に応じて 5 段階のグレードポイント（以下 GP）を設定し、各履修科目の GP に科目の単位時間数を掛けた値を全履修分合算した上で、全履修科目の単位時間数で割り、小数点第 3 位以下を切り捨てる。
各評定と GP の関係は、下表のとおり。

合否区分	評価	評点	グレードポイント
合格	S	100 点～90 点	4.0
	A	89 点～80 点	3.0
	B	79 点～70 点	2.0
	C	69 点～60 点	1.0
不合格	D	59 点以下	0.0
履修取消	－	ＧＰＡ計算対象外	

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.obm.ac.jp/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
「為世為人 技器育成」を綱領とし、個性を大切にしながらも技（技術）と心を磨き、他人を支え未来を築く人材の育成を目標としています。
この目標達成に向け、本校では、教育課程を通じて授与する学位に関して、以下に示した２つの方針に従って、専門士の学位を授与する。

・学科に所定の期間在学し、卒業並びに修了に必要な単位時間を習得し、当該学科が定める審査に合格する。
・卒業までに、本校学生が、それぞれの学科の教育課程を通じて身に付けるべき以下の能力を習得する。
１．専門的な知識
２．現場で役立つ技術、特にコミュニケーション、チームワーク、プレゼンテーションの各能力
３．磨かれた心、特に他者への思いやり、総合的な経験に基づき問題解決に向け邁進する能力
　それぞれの学科の教育課程で身に付ける専門的知識は、各学科で定める。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.obm.ac.jp/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大阪バイオメディカル専門学校
設置者名	学校法人佐藤学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.obm.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.obm.ac.jp/
財産目録	https://www.obm.ac.jp/
事業報告書	https://www.obm.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://www.obm.ac.jp/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門課程	バイオ学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	２５５０単位時間／単位	１２３０単位時間/単位	単位時間/単位	３２１０単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			４４４０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	１１６人	４人	３人	５人	８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、２０２０年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準

（概要） 年間８５０単位時間以上の習得をもって進級とし、バイオ学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２６人 （１００％）	０人 （０％）	２５人 （９６％）	１人 （４％）
（主な就職、業界等） 医薬品会社・医療機関・環境調査会社・食品会社・化粧品会社・研究機関など			
（就職指導内容） 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） バイオ技術者認定試験（中級・上級）、環境社会検定、ＱＣ検定（３級、４級）、安研協認定技術者認定試験　など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１０３人	４人	４％
（中途退学の主な理由） 進路変更・学校生活不適応・経済的理由　など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・出席不良者への電話連絡・個別相談・保護者との連携。 ・スクールカウンセラーとの面談　など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		専門課程	バイオ技術学科（昼間）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	

２年	昼	１７００ 単位時間／単位	600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	3240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			３８４０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	６７人	１人	２人	５人	８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）
単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。

上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、２０２０年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。

卒業・進級の認定基準

（概要）
年間８５０単位時間以上の習得をもって進級とし､バイオ技術学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。

学修支援等

（概要）
・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。
・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。
・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２３人 (100%)	０人 （０%）	２０人 （８７%）	３人 （１３%）

（主な就職、業界等）
医薬品会社・医療機関・環境調査会社・食品会社・化粧品会社・研究機関など

（就職指導内容）
校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など

（主な学修成果（資格・検定等））
バイオ技術者認定試験（中級・上級）、環境社会検定、ＱＣ検定（３級、４級）、安研協認定技術者認定試験など

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
５２人	２人	４％
（中途退学の主な理由） 家庭の事情・経済的理由・学校生活不適応　など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・出席不良者への電話連絡・個別相談・保護者との連携。 ・スクールカウンセラーとの面談　など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門課程	医療事務総合学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	１７００単位時間／単位	3120単位時間/単位	370単位時間/単位	610単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			４１００単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１６０人	１１６人	０人	５人	１３人	１８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、２０２０年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年間８５０単位時間以上の習得をもって進級とし、医療事務総合学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等

（概要）
・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。
・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。
・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
５０人 （100%）	０人 （０%）	４６人 （９２%）	４人 （８%）
（主な就職、業界等） 病院・医療機関・クリニック・診療所・調剤薬局　など			
（就職指導内容） 校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験、医療事務 OA 実務能力認定試験、電子カルテオペレーション検定、医師事務作業補助者実務能力認定試験、調剤事務管理士、サービス接遇検定（３級・２級）、介護報酬請求事務技能検定試験、秘書検定３級、Ｗｏｒｄ検定２級、Ｅｘｃｅｌ検定２級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１１２人	６人	５%
（中途退学の主な理由） 経済的理由・進路変更・成績不振など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・出席不良者への電話連絡・個別相談・保護者との連携。 ・スクールカウンセラーとの面談　など		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門課程	医療福祉心理学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	２５５０ 単位時間／単位	3180 単位時間 /単位	760 単位時間 /単位	920 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			４８６０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	１１６人	０人	４人	２６人	３０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）は、各科目の担当講師により作成され、前期および通年科目は3月末、後期科目は8月末に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位認定に係わる各科目の評価は、各科目の試験・授業態度・出席状況・実習の成果・発表・レポート等を総合的に評価する。配点は「試験点・平常点」を60点、「出席点」を40点とし、総合評価は100点満点で算出する。 上記総合評価が60点以上の者に当該教科の履修を認定し、２０２０年度以降の評定は点数に応じて、90点以上「S」、89点～80点「A」、79点～70点「B」、69点～60点「C」、59点以下「D」とし、59点以下は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年間８５０単位時間以上の習得をもって進級とし、医療福祉心理学科所定の各授業科目の総合成績評価に基づき全課程を修了し、所定の就業年限以上在学した者に対して、卒業を認定し、卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・佐藤学園奨学金制度を整備し、進級生の中から成績優秀かつ、他の学生の模範となるなど、総合的に優秀な学生に奨学金を恵与します。 ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。 ・スクールカウンセラーを配置しており、学生生活をフォローアップします。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
３４人 (100%)	０人 （０%）	３４人 （１００%）	０人 （０%）

（主な就職、業界等）
精神科病院、地域活動支援センター、放課後等デイサービス、心療内科クリニック、児童福祉施設、就労移行支援事業所、高齢者施設、精神障害者グループホーム　など

（就職指導内容）
校内就職説明会・履歴書指導・面接指導など

（主な学修成果（資格・検定等））
精神保健福祉士、保育士、ビジネス実務マナー検定、Ｗｏｒｄ検定２級、Ｅｘｃｅｌ検定２級、介護初任者研修　など

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

１１４人	７人	６％
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学校生活不適応、学業不振、病気　など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・出席不良者への電話連絡・個別相談・保護者との連携。 ・スクールカウンセラーとの面談　など		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
バイオ学科	100,000 円	980,000 円	200,000 円	
バイオ技術学科（昼間）	100,000 円	980,000 円	100,000 円	
日本文化教養学科	100,000 円	850,000 円	100,000 円	
医療事務総合学科	100,000 円	900,000 円	100,000 円	
医療福祉心理学科	100,000 円	900,000 円	150,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.obm.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
企業等の学校関係者への教育課程に関する情報提供を行い、フィードバックをいただくことで、より実社会のニーズに応じた学生指導を図る。 評価項目について、校長を責任者として翌年度に向けて定期的に会議等により改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ボゾリサーチセンター	2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日	企業等委員
株式会社総合水研究所	2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日	企業等委員
大阪市中央区地域振興会	2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日	地域住民
卒業生保護者	2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.obm.ac.jp/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

https://www.obm.ac.jp/